

しぜんはくぶつえん
自然博物館 通信

No.012

国営滝野すずらん丘陵公園 滝野管理センター発行

今月のトピック：滝野の歴史は139年前から始まりました

滝野の森ゾーン西エリアが開園したのは平成22年の5月。滝野公園がOPENしたのはそのずっと前の昭和58年の話。この時はまだ溪流ゾーンだけのご利用でした。では、今公園がある場所に人が入って来たのは??なんと滝野公園がある場所に最初に人が入って来たのは明治12年。今から139年前の話なんです。当時まだ札幌の街は作り始めたばかりでたくさんの木が必要でした。そこでたくさんの木があり、しかも当時最新式の動力水車を廻すための水がある場所ということで滝野が選ばれ「厚別水車器械所」という木材工場が作られました。それ以降、一時無人になりますがまた入植者が入り今に至ります。その間多くの木が切られたり生活の為に田んぼや畑が作られ、笹竹を刈り馬と共にくらしていました。自然博物館の中にはそんな名残がたくさんあり、またたくさんの人が入ったことで生まれた自然がたくさんあります。今年初開催の「滝野歴史展」滝野の森の物語“」ではそんないつもと違った森の楽しみ方をお伝えします！



明治13年完成の器械所（木材製材所）



当時の様子

新企画「滝野歴史展」滝野の森の物語“ 9/15（土）～9/24（月祝）

今年初めて開催する「滝野歴史展」滝野の森の物語“。普段はシラネアオイや昆虫、鳥、紅葉など目に見える自然を通して森を楽しんでいただいておりますが、今回は目に見えない森の姿を想像し感じながら楽しんでいただこうと思っています。滝野の森は今まで誰の手も入ってこなかった「原生林」ではなく、多くの人の手が入った「二次林」です。人の手が入ることで壊されるものもありますが、新たに生まれるものもあります。現在広がる滝野の森の豊かな自然は、過去に多くの人の手が加わり、開園後も人の手によって管理されたからこそのものであります。歴史という切り口で森を見ると今までと違ったものが見えるかも知れません。期間中は古い農機具などの展示やガイドツアー、丸太切り体験にヒグマプログラムなど様々な視点で歴史と森を楽しんでいただきます。詳しくHPか園内で配布しているチラシをご覧ください。

今月の森の様子

◆今月見られる野草

エゾトリカブト、ミヤマウズラ、アキノキリンソウ、ツルリンドウ、サラシナショウマ、ツルニンジン、各種実・種（ホオノキ、マムシグサ、マイヅルソウ、ヤマブドウなど）

◆今月見られるいきものたち

カナヘビ、アオダイショウ、ジムグリ、シマヘビ、エゾアカガエル、エゾサンショウウオ（幼生）、



【今月のオススメプログラム】

◆9/12（水） 植物写真家いがりまさし 秋の森の撮影講座

植物写真家のいがりまさしさんの写真講座です。初心者、コンパクトカメラも大歓迎です！！

10:00～15:00 参加費：無料 定員：15名 場所：森の情報館 予約：滝野管理センター011-594-2222

◆9/15（土）～10/8（月祝） 巨大ホオノキの葉っぱを探せ！

毎年恒例！今年もやります！森の中で大きなホオノキの葉っぱを見つけてきたら景品プレゼント！

参加費：無料 基準：縦と横の長さの合計が60cm以上！！

受付：森の交流館、森の情報館

滝野の森の情報については「滝野の森メールマガジン」や「滝野の森 staff twitter」でも更新中です。

★滝野の森メールマガジン：「滝野の森メールマガジン」で検索。

★滝野の森 staff twitter：<https://twitter.com/takinomori>

滝野の森ゾーン西エリア 自然^{しぜんはくぶつえん}博物館 とは・・・

国営滝野すずらん丘陵公園の中にあるエリアの1つ。2010年OPEN。テーマは「北国の人と自然の共生」
開拓や入植の歴史を持つ場所にできた森で、シラネアオイを始めとした400種以上の山野草や樹木、野鳥、昆虫などを観察できるほか、田んぼを使った体験プログラムや沢あそびなどもでき、自然をより身近に感じることができるエリア。拠点は森の情報館。最寄りの駐車場は「滝野の森口」

【利用案内】

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 TEL：011-592-3333 グリーンシーズン開園期間：4/20～11/10

滝野公園 HP：<http://www.takinopark.com/>